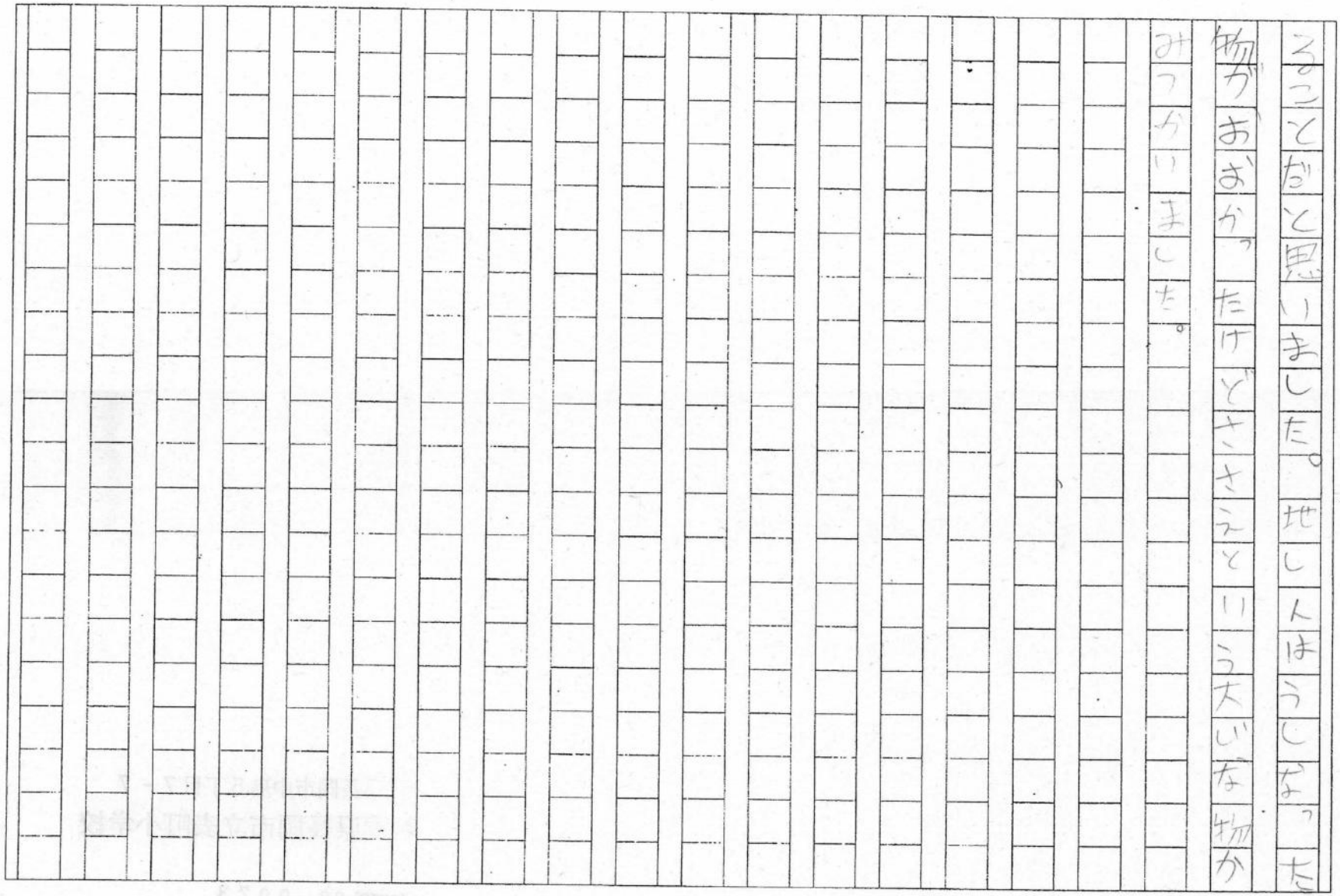
わすれてた僕を友だちをささえる人

地しんをふりかえり、うしなったり、おちこんだりしてしまった人がまだ数えきれないほどいる。命、家明るい、心一生直なおせない心のキズ、色々ひがいをうけた人がいる。だからぼくは

「おちこんじゃだめだぼくたちよりひどい人がいる」そう思う。でもささえてもらっている。パンやヒイター色々もらった。手紙ももらった。いつもの手紙のいきもちがつまっているように見えた。いまみたいにふつうにくらすとわからないささえてくれる人が山ほどいる。だからささえがなきゃ生きてけないと思いました。物だけでわない。友だちのささえがなければ楽し、遊びができない。生きてくもそれではつらい。先生のささえがないとべンきょうができずちゃんとしたうんどうもできない。このようなささえる人が山ほどいる。あたりまえにおもってもひじょうな時にわか


ることだと思いました。悲しんはうしな」た
物がおおかったけどささえという大じな物が
みつかりました。